

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月12日
18時39分09秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0001010000	危機管理室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00001	防犯体制整備事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	01	安全なまちづくり							
細節	20	防犯							
予算事業	10170	01	02	01	26	01	01	01	防犯体制整備事業（安心安全費）
所属長	室長 真壁 賢治				担当者（内線）市場 千嘉子（2145）				
根拠法令等	大阪府安全なまちづくり条例、オウム真理教対策関係市区町連絡会規約								
事業開始年度	不明	直近の改正		なし					
改正内容	なし								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	市民		
目標	防犯体制の整備を進めるとともに、防犯意識の高揚を図る		
結果	犯罪の抑止および減少、安心安全のまちづくりの実現		
事業概要	地域安全運動（春・秋の年2回）や歳末特別警戒活動、街頭犯罪防止キャンペーン（毎月1回）など吹田市全域の防犯力の向上を図るための取り組みを吹田防犯協議会・吹田警察署・市の3者で連携しながら推進している。 また、大阪府警本部や公安調査局とも連携しながら情報共有や防犯体制の整備を図っている。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
	■ 補助金・負担金	交付先①	オウム真理教対策関係市区町連絡会
交付先②			
交付先③			
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	846	844	1,973	1,664	1,882
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	806	795
総事業費(A+B)	1,663	1,634	2,779	2,470	2,677
特定財源(C)	0	0	3	3	2
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	3	3	2
市負担(D)	1,663	1,634	2,776	2,467	2,675
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,663	1,634	2,776	2,467	2,675
財源計(C+D)	1,663	1,634	2,779	2,470	2,677

所属	危機管理室
事務事業番号	00001

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	啓発活動の実施回数 (H29年度は街頭犯罪防止キャンペーンが2回雨天等で中止)	回	目標値	15.00	15.00	15.00
			実績値	7.00	9.00	
			達成度(%)	46.70	60.00	
目標値の積算方法	地域安全運動(年2回)、歳末特別警戒活動(年1回)、街頭犯罪防止キャンペーン(毎月)などへの参加回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	233.43	274.44	
			一般財源(千円)	233.43	274.11	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
(1) 治安がよいまちであると感じる市民の割合が70%以上 (2) 防犯対策に対する満足度60点以上	達成状況 42.8% (26年度吹田市市民意識調査) 54.7点 (26年度吹田市市民意識調査)

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	刑法犯罪の年間認知件数は減少傾向にあるが、女性・子ども・高齢者を狙った犯罪が後を絶たないことから、引き続き吹田警察署や吹田防犯協議会と連携し、他の防犯施策と効果的に事業を進め、安心安全のまちづくりに努める必要がある。 また、今後、防犯に関する事業の統廃合等を検討していく。

事務事業分析シート

所属名	危機管理室	事業名	防犯体制整備事業	事業区分	その他
事務事業番号	00001				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	96	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	危機管理室	事務事業番号	00001
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成26年度の吹田市市民意識調査報告書における防犯対策の重要度は78.8点と高く、市民一人ひとりが安心して暮らせる安全なまちを実現するため、警察、地域と連携しながら、市民の防犯意識を醸成し満足度を高めていく取組みを今後も進めていくことが重要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月21日
18時38分48秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0001010000	危機管理室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00002	地域防犯推進事業
章	06	安全で魅力的なまちづくり
節	01	安全なまちづくり
細節	20	防犯
予算事業	10171	01 02 01 26 01 01 02 地域防犯推進事業（安心安全費）
所属長	室長 真壁 賢治	担当者（内線） 渡邊友梨（2145）
根拠法令等	大阪府安全なまちづくり条例	
事業開始年度	平成17年度	直近の改正 平成26年度
改正内容	青色防犯パトロール員の体制見直し（4人を3人体制へ）	
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）	

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他	
対象	全市域・市民	
目標	防犯意識の高揚、自主防犯活動の促進	
結果	市民が安心して安全に暮らせるまちづくりの実現	
事業概要	<p>市非常勤職員（防犯活動推進員1名、青色防犯パトロール員3名）による地域防犯活動の推進及び地域防犯活動団体に対する支援を行う。</p> <p>(1) 防犯講座の開催（安心安全のまちづくり講習会、児童防犯講座等） 地域防犯活動団体への支援 （結成支援、助言・指導等、腕章等の支給、安心安全マップ作成支援）</p> <p>(2) 市青色防犯パトロール隊による市内全域への巡回活動（週5日、土日祝日を除く） ※不審者・声掛け事案が発生した場合は、当該地域を重点的にパトロール。</p>	
実施方法	■ 直接実施	
	□ 委託又は一部委託	委託先①
		委託先②
		委託先③
	□ 補助金・負担金	主な委託内容
交付先①		
交付先②		
□ その他	内容	

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	13,017	12,658	13,634	12,840	13,165
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	783	1,589
総事業費(A+B)	13,834	13,448	14,440	13,623	14,754
特定財源(C)	49	724	42	0	31
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	49	724	42	0	31
市負担(D)	13,785	12,724	14,398	13,623	14,723
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	13,785	12,724	14,398	13,623	14,723
財源計(G+D)	13,834	13,448	14,440	13,623	14,754

所属	危機管理室
事務事業番号	00002

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	防犯講座の開催回数（安心安全のまちづくり講習会及び児童防犯講座等）	回	目標値	20.00	20.00	20.00
			実績値	24.00	20.00	
			達成度(%)	120.00	100.00	
目標値の積算方法	年20回を目標（安心安全のまちづくり講習会6回、児童防犯講座8回、その他6回）	単位当たりコスト	総事業費(千円)	560.33	681.15	
			一般財源(千円)	530.17	681.15	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	安心安全マップ作成件数（各小学校PTA）	校	目標値	36.00	36.00	36.00
			実績値	27.00	26.00	
			達成度(%)	75.00	72.20	
目標値の積算方法	毎年度全小学校でのマップ作成	単位当たりコスト	総事業費(千円)	498.07	523.96	
			一般財源(千円)	471.26	523.96	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	防犯講座の参加人数（安心安全のまちづくり講習会及び児童防犯講座、防犯講座等）	人	目標値	800.00	800.00	800.00
			実績値	848.00	710.00	
			達成度(%)	106.00	88.80	
目標値の積算方法	年800人を目標（安心安全のまちづくり講習会200人、児童防犯講座300人、その他300人）	単位当たりコスト	総事業費(千円)	15.86	19.19	
			一般財源(千円)	15.00	19.19	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
(1) 治安がよいまちであると感じる市民の割合が70%以上 (2) 防犯対策に対する満足度60点以上	達成状況 42.8%（26年度吹田市市民意識調査） 54.7点（26年度吹田市市民意識調査）

<総合評価>

今後の方向性（一次評価）	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>防犯活動については継続した取組が必要であり、本事業は継続して行うべきであるが、地域の活動団体による防犯活動については地域間格差が生じていることから課題であるとする。</p> <p>この間、マップ作成数や講座の参加者数は、ほぼ横ばい状態で市民の防犯意識は一定レベルにあると考えており、地域の見守りの目の強化など他の事業と連携して地域の防犯力を高めていく必要がある。</p> <p>今後、事業の有り方を考えていく中で、防犯に関する統廃合等も検討していく。</p>

事務事業分析シート

所属名	危機管理室	事業名	地域防犯推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	00002				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。			
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点		
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。			
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点		
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。			
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・成果指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。			
		a. 活動指標や成果指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点		
		②事業の目的と受益者が一致していますか。			
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点		
		③事業は目標どおりに進捗していますか。			
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点		
(3) 効率性 (20点)	16	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。			
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
		①活動指標・成果指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。			
		a. 活動指標や成果指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点		
		②事業の目的と受益者が一致していますか。			
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。			
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。			
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点		
		①単位当たりコストは適正ですか。			
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	②迅速なサービスの提供に努めていますか。			
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点		
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。			
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。			
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	84	①サービスの対象範囲は適正ですか。			
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点		
		②サービスの水準は適正ですか。			
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点		
		③適正な受益者負担を求めていますか。			
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	84	④公平性を確保するための取組をしていますか。			
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点		
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。			
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点		
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。			
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	84	③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		評価点合計 (100点満点)	84	一 ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	危機管理室	事務事業番号	00002
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市青パトによる巡回や啓発あるいは防犯活動推進員による講習会の開催や防犯ボランティアの育成等継続した取組により市民の防犯意識の向上に寄与している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 7日
10時19分36秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0001010000	危機管理室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00003	安心安全の都市づくり推進事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	01	安全なまちづくり							
細節	00								
予算事業	10172	01	02	01	26	01	01	03	安心安全の都市づくり推進事業（安心安全費）
所属長	室長 真壁 賢治				担当者（内線）市場 千嘉子（2145）				
根拠法令等	吹田市安心安全の都市（まち）づくり推進計画、大阪府安全なまちづくり条例								
事業開始年度	平成19年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市民、企業、行政		
目標	市民、企業、行政等すべての者が一体となって安心安全のまちづくりを推進する。		
結果	市民生活の安心安全に寄与する。		
事業概要	安心安全の都市（まち）づくり協議会を中心に全体会や市民会議の開催により市及び市内の団体等と一体となった取組を進める。市が事務局を務め、2年に1度市民会議を開催する（H29年度は、会場となる吹田市文化会館改修工事のため不実施）。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	安心安全の都市（まち）づくり協議会	

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	334	293	100	86	735
人件費職員数(人)	0.20	0.10	0.10	0.10	0.80
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,634	790	806	806	6,356
総事業費(A+B)	1,968	1,083	906	892	7,091
特定財源(C)	239	100	119	7	50
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	239	100	119	7	50
市負担(D)	1,729	983	787	885	7,041
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,729	983	787	885	7,041
財源計(C+D)	1,968	1,083	906	892	7,091

所属	危機管理室
事務事業番号	00003

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	市民会議の開催	回	目標値	0.00	0.00	1.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	隔年実施(平成29年度は、会場となる吹田市文化会館改修工事のため不実施。平成30年度開催予定)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容	定住意向として、住み続けたいと感じる市民の割合が80%となることを目標とする。
	達成状況 57.8% (平成26年度吹田市市民意識調査報告書)

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	安心して安全に暮らせるまちは誰もが望むものであり、今後も市全体での取組が必要であるが、青少年室所管の市民大会との連携も含め、今後のあり方等については検討する必要がある。

事務事業分析シート

所属名	危機管理室	事業名	安心安全の都市づくり推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	00003				

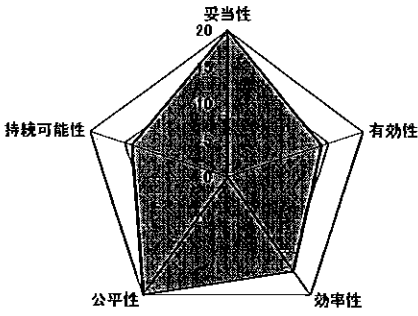
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【ブルダウメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をましている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることが出来ますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	危機管理室	事務事業番号	00003
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市内の参画・賛同団体が、「安心して住みよい吹田のまち」の想いに共感し誕生した組織で、補助事業ではなく、市の直営事業であり、各団体の役員は会議にも無償で参加している。積極的な議論に加えて、2年に1度開催される市民会議など、重要な役割を担っている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 7日
10時20分03秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0001010000	危機管理室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00005	青パト燃料支援事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	01	安全なまちづくり							
細節	20	防犯							
予算事業	10174	01	02	01	26	01	01	04	青パト燃料支援事業（安心安全費）
所属長	室長 真壁 賢治				担当者（内線）渡邊友梨（2145）				
根拠法令等	吹田市地域青色防犯パトロール活動補助金交付要領								
事業開始年度	平成20年度	直近の改正	平成28年度						
改正内容	補助金関係書類の様式変更								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	地域青色防犯パトロール団体		
目標	地域での青色防犯パトロール活動の活性化		
結果	地域での青色防犯パトロールが積極的に展開されることで、安心安全まちづくりの実現		
事業概要	<p>地域での青色防犯パトロール活動を行う団体に対して、ガソリンやエンジンオイルなどの燃料代や任意保険料を補助対象として補助金を支給する。平成29年3月末現在で11団体が活動。1団体あたり60千円を限度に、申請のあった団体に対して支給。</p> <p>下記、活動団体 (1) 千三地区 (2) 南千里地区 (5地区) (3) 千里新田地区 (4) 吹田東地区 (5) あずま自治会 (吹田東地区) (6) 岸部地区 (7) 南山田地区、(8) 西山田地区 (9) 東山田地区 (2地区) (10) 江坂企業協議会 (11) アプロ青パト隊 江坂企業協議会及びアプロ青パト隊からの補助申請はなし。</p>		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
		交付先①	地域青色防犯パトロール団体
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	660	489	660	505	660
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	806	795
総事業費(A+B)	1,477	1,279	1,466	1,311	1,455
特定財源(C)	0	489	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	489	0	0	0
市負担(D)	1,477	790	1,466	1,311	1,455
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,477	790	1,466	1,311	1,455
財源計(C+D)	1,477	1,279	1,466	1,311	1,455

所属	危機管理室
事務事業番号	00005

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	補助金の補助件数	件	目標値	11.00	11.00	11.00
			実績値	9.00	9.00	
			達成度(%)	81.80	81.80	
目標値の積算方法	地域青色防犯パトロール総団体数(吹田市除く)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	142.11	145.67	
			一般財源(千円)	87.78	145.67	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	青色防犯パトロール活動団体の結成促進	団体数	目標値	1.00	1.00	1.00
			実績値	1.00	0.00	
			達成度(%)	100.00	0.00	
目標値の積算方法	年1団体の結成を目標とする	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,279.00	0.00	
			一般財源(千円)	790.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
(1) 治安がよいまちであると感じる市民の割合が70%以上 (2) 防犯対策に対する満足度60点以上	達成状況 42.8% (26年度吹田市市民意識調査) 54.7点 (26年度吹田市市民意識調査)

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	青色防犯灯回転車による地域防犯パトロール活動については、各地域ごとに活動実施方法や活動頻度、運営方法が違い、また、全地域に活動団体が存在していないことから、事業全体の費用対効果を検証することは困難である。しかし、犯罪抑止や地域住民への安心感等のパトロール効果については評価できるものであり、ドライバーの高齢化などの課題はあるものの、引き続きより多くの地域での青パト活動導入の促進や継続した活動ができるよう、支援のあり方の検討を行っていく。

事務事業分析シート

所属名	危機管理室	事業名	青パト燃料支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	00005				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・成果指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や成果指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	危機管理室	事務事業番号	00005
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>地域の青色防犯パトロール車は現在まで11団体に導入されており、導入された地域においては、一定の成果が上がっているものと考え、今後も継続して支援を行っていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 7日
10時20分32秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0001010000	危機管理室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00006	吹田市防犯活動補助事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	01	安全なまちづくり							
細節	20	防犯							
予算事業	10175	01	02	01	26	01	01	05	吹田市防犯活動補助事業（安心安全費）
所属長	室長 真壁 賢治			担当者（内線）渡邊友梨（2145）					
根拠法令等	吹田市防犯活動事業補助金交付要領								
事業開始年度	不明	直近の改正		平成28年度					
改正内容	補助金関係書類の様式変更								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	防犯活動及び防犯に関する啓発活動を行う団体（吹田防犯協議会）		
目標	防犯活動費を補助し、防犯活動の推進・充実を図る		
結果	市民が安心して安全に暮らせるまちづくりの実現		
事業概要	犯罪のない住みよいまちづくりの実現を図るため各種防犯活動及び啓発事業を実施する吹田防犯協議会に対し、予算の範囲内において防犯活動事業補助金を交付する。毎年、防犯協議会、吹田警察署、市の3者で協働し啓発活動等を実施。 吹田防犯協議会活動概要 (1) 34の地域防犯支部と10の職域防犯から構成 (2) 活動内容 地域防犯活動及び啓発活動（防犯パトロールのほか、地域安全運動（春秋年2回） 歳末特別警戒活動（年末）、街頭犯罪防止キャンペーン（毎月1回）等を実施）		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	吹田防犯協議会
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	4,060	4,060	4,060	4,060	4,060
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	806	795
総事業費(A+B)	4,877	4,850	4,866	4,866	4,855
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	4,877	4,850	4,866	4,866	4,855
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,877	4,850	4,866	4,866	4,855
財源計(C+D)	4,877	4,850	4,866	4,866	4,855

所属	危機管理室
事務事業番号	00006

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	啓発活動等の実施回数	回	目標値	15.00	15.00	15.00
			実績値	7.00	9.00	
			達成度(%)	46.70	60.00	
目標値の積算方法	春、秋の地域安全運動(年2回)、歳末特別警戒(1回)および毎月1回の街頭犯罪防止キャンペーン等の実施回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	692.86	540.67	
			一般財源(千円)	692.86	540.67	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	補助対象経費に対する補助割合(吹田市防犯活動事業補助金)	%	目標値	100.00	100.00	100.00
			実績値	96.00	93.00	
			達成度(%)	96.00	93.00	
目標値の積算方法	補助対象経費については、予算の範囲内ではあるが、満額補助を目標とする。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	50.52	52.32	
			一般財源(千円)	50.52	52.32	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容		件	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 (1) 治安がよいまちであると感じる市民の割合が70%以上 (2) 防犯対策に対する満足度60点以上	達成状況 42.8% (26年度吹田市市民意識調査) 54.7点 (26年度吹田市市民意識調査)

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	吹田防犯協議会は34の防犯支部と10の職域防犯協議会からなる市全域での地域防犯活動及び啓発活動の核となって活動していただいている団体であることから、今後についても継続して活動を支援していく必要があると考える。 なお、市からの補助額については、予算の範囲内としているが、非営利の活動団体であり自主財源の確保が困難なことから、活動を維持するために引き続き同額程度の補助は必要だと考える。

事務事業分析シート

所属名	危機管理室	事業名	吹田市防犯活動補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	00006				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・成果指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や成果指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	14	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	84	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
	b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点

所属名	危機管理室	事務事業番号	00006
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市内の防犯活動に特化した団体への活動補助事業で、キャンペーンや講座の開催にと、市民への啓発に尽力いただいている。特に市内全ての地域に防犯委員を配置し、また、その連絡系統も確立されており、犯罪の抑止に関する情報の共有等を行うことができている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月13日
18時19分23秒 作成

評価年度	平成29年度	所属	0001010000	危機管理室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00007	防災情報充実強化事業			
章	06	安全で魅力的なまちづくり			
節	01	安全なまちづくり			
細節	10	防災			
予算事業	10784	01	09	01 04 01 01 01	防災情報充実強化事業（災害対策費）
所属長	室長 真壁 賢治		担当者（内線）津田 泰彦（2134）		
根拠法令等	防災情報充実強化事業に関する協定書、災害対策基本法、大阪府地域防災計画、吹田市地域防災計画				
事業開始年度	平成18年度	直近の改正	平成27年度		
改正内容	「防災情報メールの配信速度の改善」及び「避難所開設時の防災情報メール文言変更」を実施				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	行政、企業、市民		
目標	大阪府及び府内各市町村の防災情報共有体制の充実		
結果	災害時における大阪府及び府内各市町村の防災体制の確保や、住民への災害情報の提供の充実		
事業概要	府内全域を対象に、住民への情報発信力の強化と府や市町村などの防災関係機関の情報共有体制の充実を図り、安心安全なまちづくりをめざし、府と市町村の共同事業として防災情報充実強化運営協議会を設置し、防災ポータルサイト、防災情報メールなどの防災システムの「おおさか防災ネット」を運用		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	大阪府知事	
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,139	1,150	2,671	2,394	928
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	806	795
総事業費(A+B)	1,956	1,940	3,477	3,200	1,723
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	1,956	1,940	3,477	3,200	1,723
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,956	1,940	3,477	3,200	1,723
財源計(C+D)	1,956	1,940	3,477	3,200	1,723

所属	危機管理室
事務事業番号	00007

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	防災情報充実強化事業運営協議会出席回数	回	目標値	3.00	3.00	3.00
			実績値	3.00	2.00	
			達成度(%)	100.00	66.70	
目標値の積算方法	運営協議会の出席回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	646.67	1,600.00	
			一般財源(千円)	646.67	1,600.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	おおさか防災ネット・メール配信登録者数(吹田市)	人	目標値	36,000.00	37,000.00	37,000.00
			実績値	9,422.00	7,618.00	
			達成度(%)	26.20	20.60	
目標値の積算方法	市民(37万人)の1割の登録を目標値に設定	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.21	0.42	
			一般財源(千円)	0.21	0.42	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	おおさか防災ネット・ポータルサイト閲覧訪問者数(年度)	人	目標値	880,000.00	880,000.00	880,000.00
			実績値	707,808.00	1,497,435.00	
			達成度(%)	80.40	170.20	
目標値の積算方法	府民(880万人)の1割の閲覧を目標値に設定	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	昨今の自然災害の増加を受け、防災情報の伝達方法の多重化は必須となっている。大阪府と府内市町村の共同事業である「おおさか防災ネット」の活用は有効であるため、今後も平時での活用も含め認知度を上げ、防災情報メール登録者増加のための取り組みを継続していく。また、現行システムは平成29年度に更新され、多くの市民に利用されるサイトとなるように、気象台新電文への対応及びサイトの多言語対応がなされた。

事務事業分析シート

所属名	危機管理室	事業名	防災情報充実強化事業	事業区分	その他
事務事業番号	00007				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組をしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	98	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	危機管理室	事務事業番号	00007
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>防災に関する情報発信として有効な事業であり、全体として高い評価となっている。大阪府と府内市町村が共同事業として取り組む運営協議会での合意が必要であるが、事業効率の向上を図り、多くの市民に利用してもらえるサイトとなるよう進めていく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月12日
18時40分36秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0001010000	危機管理室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00008	災害時シャワーシステム保守点検事業			
章	06	安全で魅力的なまちづくり			
節	01	安全なまちづくり			
細節	10	防災			
予算事業	10785	01	09	01 04 01 01 02	災害時シャワーシステム保守点検事業（災害対策費）
所属長	室長 眞壁 賢治		担当者（内線）新居 佑介（2133）		
根拠法令等	災害対策基本法、大阪府地域防災計画、吹田市地域防災計画				
事業開始年度	平成20年度	直近の改正	平成23年度		
改正内容	継続的なシステムの保守点検を実施				
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	被災者		
目標	災害時に避難所にシステムを設置しシャワーを提供		
結果	被災者の衛生面および休息の確保		
事業概要	災害時に備え、避難所生活者用に設置するシャワー設備の保守点検を実施。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	委託先①	株式会社ヒラカワ
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	シャワーシステムの保守点検
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
		交付先②	
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	124	108	124	123	108
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	806	795
総事業費(A+B)	941	898	930	929	903
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	941	898	930	929	903
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	941	898	930	929	903
財源計(C+D)	941	898	930	929	903

所属	危機管理室
事務事業番号	00008

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	シャワーシステムの保守点検の実施	回	目標値	1.00	1.00	1.00
			実績値	1.00	1.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	実施できたか	単位当たりコスト	総事業費(千円)	898.00	929.00	
			一般財源(千円)	898.00	929.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	システムを利用した訓練の実施	回	目標値	1.00	1.00	1.00
			実績値	1.00	1.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	訓練を実施できたか	単位当たりコスト	総事業費(千円)	898.00	929.00	
			一般財源(千円)	898.00	929.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	災害時において、衛生面の観点からもシャワーシステムの有用性は認められるが、納入から10年が経過するため、陸上自衛隊保有の野外入浴セットによる支援や維持管理についての協定締結を含め、今後の運用等を再検討する必要がある。

事務事業分析シート

所属名	危機管理室	事業名	災害時シャワーシステム保守点検事業	事業区分	その他
事務事業番号	00008				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		c. 具体的な成果があまりない状況である。(1点)	1点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	76	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	危機管理室	事務事業番号	00008
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>災害時において、衛生面の観点からもシャワーシステムの有用性は認められるが、市が単独で行っている事の妥当性や導入から10年が経過している中で今後の持続可能性など課題がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月12日
18時41分19秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0001010000	危機管理室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00009	防災訓練事業			
章	06	安全で魅力的なまちづくり			
節	01	安全なまちづくり			
細節	10	防災			
予算事業	10786	01	09	01 04 01 01 03	防災訓練事業（災害対策費）
所属長	室長 真壁 賢治		担当者（内線）		新居 佑介（2133）
根拠法令等	災害対策基本法、大阪府地域防災計画、吹田市地域防災計画				
事業開始年度	昭和40年度	直近の改正	なし		
改正内容	なし				
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	行政、企業、市民		
目標	平時より関係機関との有機的な連携や災害における地域防災力向上のため、訓練を実施する		
結果	関係機関との有機的な連携の強化および地域防災力の向上に寄与する		
事業概要	地域防災総合訓練、吹田市一斉合同防災訓練など各種訓練の実施		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	吹田市一斉合同防災訓練	

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	5,366	5,589	6,928	7,342	7,258
人件費職員数(人)	1.90	1.80	1.90	1.60	1.90
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	15,523	14,220	15,299	12,884	15,096
総事業費(A+B)	20,889	19,809	22,227	20,226	22,354
特定財源(C)	0	0	4	0	2
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	4	0	2
市負担(D)	20,889	19,809	22,223	20,226	22,352
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	20,889	19,809	22,223	20,226	22,352
財源計(C+D)	20,889	19,809	22,227	20,226	22,354

所属	危機管理室
事務事業番号	00009

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	地域防災総合訓練の実施	回	目標値	1.00	1.00	1.00
			実績値	1.00	1.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	実施回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	19,809.00	20,226.00	
			一般財源(千円)	19,809.00	20,226.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	合同防災訓練の実施(地域連携)	回	目標値	1.00	1.00	1.00
			実績値	1.00	1.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	実施回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	19,809.00	20,226.00	
			一般財源(千円)	19,809.00	20,226.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	防災総合訓練参加者数	人	目標値	750.00	1,000.00	2,000.00
			実績値	800.00	2,000.00	
			達成度(%)	106.70	200.00	
目標値の積算方法	参加者数(前年度実績)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	24.76	10.11	
			一般財源(千円)	24.76	10.11	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	合同防災訓練参加者数	人	目標値	15,000.00	15,000.00	15,000.00
			実績値	8,214.00	15,000.00	
			達成度(%)	54.80	100.00	
目標値の積算方法	参加者数(前年度実績)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2.41	1.35	
			一般財源(千円)	2.41	1.35	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>地域防災方向上のため、地域防災計画に定められた地域防災総合訓練の実施とともに、市民と一体となった合同防災訓練及び地域と連携した防災訓練を実施している。</p> <p>平成29年度の地域防災総合訓練は土曜日開催としたため一般市民の参加が大きく増え、市民の防災意識の向上につながった。</p> <p>また、訓練実施の必要性が高い災害を想定し、地域や協定先の実情に応じ訓練参加の協力依頼も行っていることから、訓練内容の充実と協定先である大学との連携強化を図ることができている。</p> <p>今後も、訓練の内容及び連携先を充実させながら継続して実施し、職員の災害対応力及び市民の地域防災力のさらなる向上を図る必要がある。</p>

事務事業分析シート

所属名	危機管理室	事業名	防災訓練事業	事業区分	その他
事務事業番号	00009				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・成果指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や成果指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	98	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	危機管理室	事務事業番号	00009
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	地域防災力向上のため、地域防災計画に定められた地域防災総合訓練の実施とともに、市民と一体となった合同防災訓練及び地域と連携した防災訓練を実施している。 災害対応のため重要な事業であり、全ての項目において高い評価となっている。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月12日
18時41分53秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0001010000	危機管理室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00010	地域防災計画推進事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	01	安全なまちづくり							
細節	10	防災							
予算事業	10787	01	09	01	04	01	01	04	地域防災計画推進事業（災害対策費）
所属長	室長 真壁 賢治				担当者（内線）有吉 恭子（2133）				
根拠法令等	災害対策基本法、大阪府地域防災計画、吹田市地域防災計画								
事業開始年度	昭和39年度	直近の改正	平成28年度						
改正内容	吹田市地域防災計画の改訂								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	行政、企業、市民		
目標	防災体制全般の整備を進めるため、防災会議を開催し吹田市地域防災計画を適宜修正する		
結果	吹田市地域防災計画に基づいた防災体制全般の整備や各種マニュアルの策定		
事業概要	災害対策基本法に基づく吹田市地域防災計画の策定及びその計画に基づく具体的な行動マニュアルの策定等		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	12,411	11,855	989	1,188	19,271
人件費職員数(人)	2.10	2.25	1.80	1.10	1.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	17,157	17,775	14,494	8,858	9,534
総事業費(A+B)	29,568	29,630	15,483	10,046	28,805
特定財源(C)	0	12	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	12	0	0	0
市負担(D)	29,568	29,618	15,483	10,046	28,805
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	29,568	29,618	15,483	10,046	28,805
財源計(C+D)	29,568	29,630	15,483	10,046	28,805

所属	危機管理室
事務事業番号	00010

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	防災会議の開催	回	目標値	2.00	2.00	2.00
			実績値	2.00	2.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	防災会議の開催回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	14,815.00	5,023.00	
			一般財源(千円)	14,809.00	5,023.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	防災計画に基づく防災体制検証の実施	回	目標値	2.00	2.00	2.00
			実績値	4.00	4.00	
			達成度(%)	200.00	200.00	
目標値の積算方法	防災対策推進会議及び準備会の開催回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	7,407.50	2,511.50	
			一般財源(千円)	7,404.50	2,511.50	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	吹田市地域防災計画や避難勧告等の判断・伝達マニュアル(水害編・土砂災害編)の活用回数	式	目標値	1.00	1.00	1.00
			実績値	1.00	1.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	警報発表時に避難勧告等の発令に備えて、計画やマニュアルの確認等の実施	単位当たりコスト	総事業費(千円)	29,630.00	10,046.00	
			一般財源(千円)	29,618.00	10,046.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	防災計画に基づく円滑な応急・復旧活動	パーセント	目標値	100.00	100.00	100.00
			実績値	100.00	100.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	警報発令時及び災害対策本部設置時に係る円滑な応急・復旧活動割合	単位当たりコスト	総事業費(千円)	296.30	100.46	
			一般財源(千円)	296.18	100.46	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>昨今の自然災害に対応し災害対策基本法、大阪府防災計画の改訂等をふまえ、実践的な計画に改訂するよう庁内全部局及び協定団体と協議を重ねるとともに、防災訓練で協議事項の検証を行いながら吹田市地域防災計画の改訂を行った。</p> <p>昨年度からは、行政機関としての機能継続性の確保のためBCP(業務継続計画)及び受援計画の作成に取り組むとともに、地域防災計画内容についての検証訓練を重ね、防災体制の充実・強化に努めている。</p> <p>今後も検証を重ねながら上位・下位計画と整合を図るなど事業を継続していく必要がある。</p>

事務事業分析シート

所属名	危機管理室	事業名	地域防災計画推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	00010				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・成果指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や成果指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	98	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	危機管理室	事務事業番号	00010
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>昨今の自然災害に対応し災害対策基本法、大阪府防災計画の改訂等をふまえ、実践的な計画に改訂するよう庁内全部局及び協定団体と協議を重ね、28年度に改訂した吹田市地域防災計画に対して、「防災レポリューション研修」等多種多様な研修や訓練を行い、実効性の向上を図った。 地域防災計画は、市の防災施策の根幹であり全ての項目において高い評価となっている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に係る特記事項)

平成28年度に吹田市地域防災計画の見直しを実施したが、以後の関係法令の改正や「新・大阪府地震防災アクションプラン」の策定などを受け、計画全般に修正を行う必要が生じている。30年度にも、計画改訂など対応に努める必要がある。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月12日
18時44分08秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0001010000	危機管理室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00011	国民保護法関連事業		
章	06	安全で魅力的なまちづくり		
節	01	安全なまちづくり		
細節	10	防災		
予算事業	10788	01	09	01 04 01 01 05 国民保護法関連事業（災害対策費）
所属長	室長 真壁 賢治		担当者（内線）村中 亮平（2135）	
根拠法令等	武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律、吹田市国民保護計画			
事業開始年度	平成17年度	直近の改正	平成29年度	
改正内容	吹田市国民保護計画の修正			
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	行政、企業、市民		
目標	国民保護協議会を開催し、吹田市国民保護計画の修正を実施し、計画に基づいた訓練の実施や有事の際の迅速な国民保護体制を確立する。		
結果	吹田市国民保護計画に基づいた有事の際の住民の安否確認や安全確保		
事業概要	法に基づき住民の避難、避難住民等の救援、武力攻撃、災害への対処など市が行う措置についての具体的な計画を策定し、訓練等を通じて住民と一体となった体制を整備する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	576	413	1,044	978	265
人件費職員数(人)	0.20	0.10	0.60	0.80	1.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,634	790	4,832	6,442	9,534
総事業費(A+B)	2,210	1,203	5,876	7,420	9,799
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	2,210	1,203	5,876	7,420	9,799
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,210	1,203	5,876	7,420	9,799
財源計(C+D)	2,210	1,203	5,876	7,420	9,799

所属	危機管理室
事務事業番号	00011

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	国民保護協議会の開催	回	目標値	1.00	1.00	1.00
			実績値	0.00	1.00	
			達成度(%)	0.00	100.00	
目標値の積算方法	国民保護協議会の開催回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	7,420.00	
			一般財源(千円)	0.00	7,420.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	国民保護事象に対応するため国民保護計画に基づく訓練の実施	回	目標値	1.00	3.00	2.00
			実績値	1.00	3.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	訓練の実施回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,203.00	2,473.33	
			一般財源(千円)	1,203.00	2,473.33	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>平成29年度は国民保護協議会を開催し、国民保護計画を改訂したが、今後も国及び府の動向に沿った計画の見直しを図っていく必要があることから、平成30年度は、上位計画の変更に伴い、国民保護協議会を開催し、国民保護計画の変更を予定している。</p> <p>また、大規模集客施設等において想定される緊急対処事態等に対応するため、平成29年度は国民保護法に基づく訓練(実働・図上)を実施した。今後も訓練等を通して、国、府及び関係機関等の連携体制等を整備していく。</p>

事務事業分析シート

所属名	危機管理室	事業名	国民保護法関連事業	事業区分	その他
事務事業番号	00011				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・成果指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や成果指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	92	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	危機管理室	事務事業番号	00011
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>今年度は国民保護協議会を開催し、国民保護計画内容の変更を行った。大規模集客施設等において想定される緊急対処事態等に対応するため、国及び府と連携した国民保護法に基づく訓練を実施し、有効性の評価が上がっている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

国民保護計画の見直し及び行動マニュアルの作成に取り組む必要がある。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
17時01分58秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0001010000	危機管理室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00012	防災関連システム運営管理事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	01	安全なまちづくり							
細節	10	防災							
予算事業	10789	01	09	01	04	01	01	06	防災関連システム運営管理事業（災害対策費）
所属長	室長 真鍋 賢治				担当者（内線）津田 泰彦（2134）				
根拠法令等	災害対策基本法、大阪府地域防災計画、吹田市地域防災計画								
事業開始年度	昭和63年度		直近の改正		平成27年度				
改正内容	吹田市防災行政無線屋外拡声局の増設								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	行政、企業、市民		
目標	市防災行政無線、防災気象情報システム、防災情報システムなど防災関連システムについて、保守管理や必要に応じシステムの改修を行い、災害発生時に支障なく作動させ、市民へ確実かつ必要な情報の伝達体制を構築		
結果	災害時における避難勧告等の判断やその広報など、災害の種別に応じた情報提供を迅速かつ的確に行うことにより、市民の安心安全を図ることができる		
事業概要	市防災行政無線、防災気象情報システム、防災情報システム、地震計システム、その他防災体制システムが確実に作動するための保守管理を行い、システムの老朽化や故障に対するの修繕など、防災関連システムを維持・管理していくための事業		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	東芝通信インフラシステムズ株式会社
		委託先②	株式会社ウェザーニューズ
		委託先③	株式会社ドーン
	主な委託内容		各種システムの保守管理
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	53,456	54,100	77,158	75,787	91,207
人件費職員数(人)	0.50	0.30	0.50	0.50	0.70
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	2,370	4,026	4,026	5,562
総事業費(A+B)	57,541	56,470	81,184	79,813	96,769
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	57,541	56,470	81,184	79,813	96,769
地方債	37,500	37,500	47,700	0	49,200
その他	0	0	0	0	0
一般財源	20,041	18,970	33,484	79,813	47,569
財源計(C+D)	57,541	56,470	81,184	79,813	96,769

所属	危機管理室
事務事業番号	100012

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	各種システム等の維持管理を行っており、定量的な指標の算出が困難	なし	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	なし	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	各種システム等の維持管理を行っており、定量的な指標の算出が困難	なし	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	なし	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	防災関連システムの適正な作動に向けた保守管理・改修の実施	目標	防災関連システム、地震計システム等の保守管理
成果内容	毎年、システムの保守管理を行い、国、府の災害対応に見合ったシステムの改修を行う。	達成状況	防災関連システム、地震計システム等の保守点検実施、軽微な修繕対応済み 平成29年度に防災情報システムを導入

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	■ 拡充 □ 継続 □ 縮小 □ 廃止 □ 終期の設定		
評価の説明	<p>災害時における市民への避難勧告等の発令や広報など、災害の種別に応じた情報提供を迅速かつ的確に行うため、防災関連システムの運営管理事業は必要である。緊急情報伝達手段の1つである市防災無線の屋外拡声局は、現状、市内全域をカバーができていないため、今後継続して設備の整備に関して検討していく。また、Jアラート受信機の更新を行い、国からの緊急情報を確実に受信できるようにシステム整備を行うとともに、Jアラートによる緊急情報を市内に幅広く伝達する手段の一つとして学校放送設備と防災行政無線戸別受信機を活用した緊急告知設備の整備を市内全小中学校で進めていく。</p> <p>また、防災気象情報システムや防災情報システムなどを活用した防災体制の整備をすすめ、災害対応力の向上を図る。</p>		

事務事業分析シート

所属名	危機管理室	事業名	防災関連システム運営管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	00012				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	94	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	危機管理室	事務事業番号	00012
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>災害、テロ、新たな疾病など各種危機事象に対応するため、情報の迅速かつ的確な伝達体制の確立及び災害対応力の強化を図り、防災関連システムを活用することは、市民に確実かつ迅速に必要な情報を提供するために必要不可欠であり、優先順位の高い事業である。</p> <p>初動体制の確立に必要な防災情報システムや情報収集等に必要となる防災気象情報システムなど、社会情勢や市民ニーズをふまえ、初動体制の確立に効果のあるシステムとなるよう継続した見直しが必要である。</p> <p>事業費の増加が見込まれるため、持続可能性の評価が若干下がっている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
17時02分19秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0001010000	危機管理室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00013	災害ボランティア育成事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	01	安全なまちづくり							
細節	10	防災							
予算事業	10792	01	09	01	04	01	02	02	災害ボランティア育成事業（災害対策費）
所属長	室長 真壁 賢治				担当者（内線） 富岡 健一（内線2134）				
根拠法令等	吹田市地域防災計画								
事業開始年度	平成19年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	吹田市退職職員		
目標	市内在住の退職職員に退職直前に所属していた部局の業務を補完してもらう		
結果	災害初期の職員が不足する中、退職職員の力を借りて災害対策本部及び本来業務の円滑化を図ることができる。		
事業概要	吹田市職員として培った知識、経験を役立ててもらい吹田市の災害対応等を円滑に進める。 また災害専門ボランティアには災害時の対応が必要となるためボランティア保険に加入。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	36	33	36	31	36
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	806	795
総事業費(A+B)	853	823	842	837	831
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	853	823	842	837	831
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	853	823	842	837	831
財源計(C+D)	853	823	842	837	831

所属	危機管理室
事務事業番号	00013

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	災害専門ボランティアの養成	回	目標値	1.00	1.00	1.00
			実績値	1.00	1.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	新任の災害専門ボランティアの説明会	単位当たりコスト	総事業費(千円)	823.00	837.00	
			一般財源(千円)	823.00	837.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	災害専門ボランティアの能力の向上	回	目標値	1.00	1.00	1.00
			実績値	1.00	1.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	1回/年を目途に訓練、研修の開催を目標値として設定	単位当たりコスト	総事業費(千円)	823.00	837.00	
			一般財源(千円)	823.00	837.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	災害専門ボランティアの登録	人	目標値	60.00	60.00	60.00
			実績値	54.00	52.00	
			達成度(%)	90.00	86.70	
目標値の積算方法	災害対策本部体制時部局数15部局(消防部、水道部除く)に対し4人登録	単位当たりコスト	総事業費(千円)	15.24	16.10	
			一般財源(千円)	15.24	16.10	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	連絡訓練参加人数	人	目標値	54.00	52.00	60.00
			実績値	54.00	52.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	ボランティア名簿登載者全員参加	単位当たりコスト	総事業費(千円)	15.24	16.10	
			一般財源(千円)	15.24	16.10	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	大規模災害発災後の初動対応では、経験豊富で専門性を持つ市職員OBの応援は有効であるが、退職後、再任用にて職場で活躍される職員が増えており、人員の確保が課題となっている。 また、すでに登録されている市職員OBについては、平時からの連携を積極的に図り、災害時の協力体制を確保する。

事務事業分析シート

所属名	危機管理室	事業名	災害ボランティア育成事業	事業区分	その他
事務事業番号	00013				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	危機管理室	事務事業番号	00013
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>大規模災害発生時の初動体制では、経験豊富で専門性をもつ市職員OBの応援は有効であるが、平時に具体的な成果が上がらず、有効性の評価が下がっている。 退職後、再任用にて職場で活躍されている職員が増えており、人員の確保が課題となるほか、登録されている方との平時からの連携を図る必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月12日
18時45分28秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0001010000	危機管理室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00014	防災用資機材給付事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	01	安全なまちづくり							
細節	10	防災							
予算事業	10793	01	09	01	04	01	02	03	防災用資機材給付事業（災害対策費）
所属長	室長 眞壁 賢治				担当者（内線）新居 佑介（2133）				
根拠法令等	吹田市自主防災用資機材給付実施要綱								
事業開始年度	平成10年度	直近の改正	平成22年度						
改正内容	給付資機材の上限を廃止し、世帯数の多い自主防災組織にも、予算の範囲以内において世帯数に見合った資機材の給付を実施								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他			
対象	単一自治会等の自主防災組織			
目標	地域における初期防災力の向上			
結果	自主防災組織の結成促進による地域防災力の向上			
事業概要	地域における自主防災力向上を図るため、連合自治会、単一自治会等で結成された自主防災組織へ防災用資機材を給付			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施			
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①		
		委託先②		
		委託先③		
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容		
		交付先①		
交付先②				
<input type="checkbox"/> その他	内容			

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,385	1,358	1,569	1,634	1,569
人件費職員数(人)	0.20	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,634	790	806	806	795
総事業費(A+B)	3,019	2,148	2,375	2,440	2,364
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	3,019	2,148	2,375	2,440	2,364
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	3,019	2,148	2,375	2,440	2,364
財源計(C+D)	3,019	2,148	2,375	2,440	2,364

所属	危機管理室
事務事業番号	00014

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	自主防災組織の結成数	団体	目標値	15.00	15.00	15.00
			実績値	7.00	7.00	
			達成度(%)	46.70	46.70	
目標値の積算方法	過去の結成数を考慮し、目標値を設定	単位当たりコスト	総事業費(千円)	306.86	348.57	
			一般財源(千円)	306.86	348.57	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	自主防災組織の結成率 給付団体数累計/560自治会	%	目標値	100.00	100.00	100.00
			実績値	47.00	49.00	
			達成度(%)	47.00	49.00	
目標値の積算方法	全ての自治会等に自主防災組織の結成を進めていくため100%を目標値に設定	単位当たりコスト	総事業費(千円)	45.70	49.80	
			一般財源(千円)	45.70	49.80	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>本事業では自主防災組織の結成、活動を促進する目的で、結成組織に対して救助用資機材の給付を行っており、29年度は、新たに7団体が結成され、地域防災力の向上が図れた。</p> <p>また、給付した防災用資機材を活用して、訓練に取り組むなど自主防災活動の促進にも効果を発揮している。</p> <p>今後も、さらなる地域防災力の向上を図るため、多くの自主防災組織の結成を促進していく必要があり、また、効率よく多くの自主防災組織に救助用資機材を給付できるよう事業体制の整理・検討が必要である。</p> <p>本市においては、新たな住宅開発が市内各所で進められており、事業ニーズは今後も増加するものと思われる。</p>

事務事業分析シート

所属名	危機管理室	事業名	防災用資機材給付事業	事業区分	その他
事務事業番号	00014				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的と比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	88	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	危機管理室	事務事業番号	00014
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業では自主防災組織の結成、活動を促進する目的で、結成組織に対して救助用資機材の給付を行っており、本年度は、新たに7団体が結成され、地域防災力の向上が図られた。先着順で申請に応じて予算を消費していく事業の特性上、事業の進捗は遅れがちである。今後、効率よく多くの自主防災組織に救助用資機材を給付できるよう事業体制の整理・検討も必要。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月12日
19時08分49秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0001010000	危機管理室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00015	非常用物資備蓄事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	01	安全なまちづくり							
細節	10	防災							
予算事業	10794	01	09	01	04	01	02	04	非常用物資備蓄事業（災害対策費）
所属長	室長 真壁 賢治				担当者（内線） 村中 亮平（2135）				
根拠法令等	災害対策基本法、大阪府地域防災計画、吹田市地域防災計画								
事業開始年度	不明	直近の改正		平成29年度					
改正内容	吹田市備蓄計画に基づく備蓄体制の整備								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	行政、企業、市民		
目標	吹田市備蓄計画、吹田市地域防災計画及び大阪府地域防災計画に基づく備蓄物資の確保および個人や家庭・地域での備蓄の推進		
結果	避難所生活者用の備蓄数の確保および地域防災力の向上		
事業概要	大規模災害発生時、被災者に対して食糧などの物資を支給し救援するため、非常用物資の備蓄を行う。また、非常用物資の中で消費期限切れとなる物資については、啓発等で計画的に活用し、買い替えを行う。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	2,150	1,924	2,048	2,007	23,357
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	806	3,973
総事業費(A+B)	2,967	2,714	2,854	2,813	27,330
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	2,967	2,714	2,854	2,813	27,330
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,967	2,714	2,854	2,813	27,330
財源計(C+D)	2,967	2,714	2,854	2,813	27,330

所属	危機管理室
事務事業番号	00015

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	備蓄物資の管理	式	目標値	1.00	1.00	1.00
			実績値	1.00	1.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	備蓄物資の購入、管理ができていますか	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2,714.00	2,813.00	
			一般財源(千円)	2,714.00	2,813.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	吹田市備蓄計画に基づく食料、生活必需品等の整備	食、個	目標値	63,600.00	63,600.00	95,400.00
			実績値	75,098.00	75,998.00	
			達成度(%)	118.10	119.50	
目標値の積算方法	吹田市備蓄計画に基づく積算(53,000食×1.2×1.5)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.04	0.04	
			一般財源(千円)	0.04	0.04	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>大規模災害時に被災者を救援するための非常用物資を備蓄するため、吹田市地域防災計画で定められた目標数を常に備蓄しており、費用に見合う効果を得ている。</p> <p>また、消費期限切れとなる非常用物資については、買い替えを効率よく行い、啓発等で計画的に活用していく予定である。</p> <p>今後、大阪府が平成27年11月に示した備蓄方針と平成29年10月策定の吹田市備蓄計画に基づき救援物資の品目、量の拡充や輸送拠点となる施設での実動体制の強化や、市内6地域ごとの防災用備蓄倉庫の整備等、他事業との連携を視野に備蓄体制の強化を図っていく。</p>

事務事業分析シート

所属名	危機管理室	事業名	非常用物資備蓄事業	事業区分	その他
事務事業番号	00015				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。			
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点		
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。			
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点		
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。			
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	20	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。			
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。			
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点		
		②事業の目的と受益者が一致していますか。			
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。			
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。			
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
		①単位当たりコストは適正ですか。			
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。			
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点		
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。			
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。			
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。			
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点		
		②サービスの水準は適正ですか。			
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点		
		③適正な受益者負担を求めていますか。			
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組をしていますか。			
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点		
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。			
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点		
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。			
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	94	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		一 ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))			

所属名	危機管理室	事務事業番号	00015
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>地域防災計画で定める備蓄の目標数を備蓄できており、費用に見合った効果を得られている。市、府の被害想定を参考にしながら、消費期限切れの備蓄品については買い替えを行い、常に必要とされる目標数の備蓄を継続して行っていくことが必要。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
17時03分27秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0001010000	危機管理室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00016	災害時救急医療器具等整備事業等補助事業			
章	06	安全で魅力的なまちづくり			
節	01	安全なまちづくり			
細節	10	防災			
予算事業	10795	01	09	01 04 01 02 05	災害時救急医療器具等整備事業等補助事業（災害対策費）
所属長	室長 真壁 賢治		担当者（内線）有吉 恭子（2133）		
根拠法令等	吹田市災害時救急医療器具等整備事業等補助金交付要領				
事業開始年度	昭和56年度	直近の改正	平成24年度		
改正内容	組織機構改正による所要の見直し				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 ● その他		
対象	吹田市医師会		
目標	災害時に地域の救急医療を迅速かつ確実に実施できる体制の確保。		
結果	迅速かつ確実な医療体制を確保することにより、市民の生命を守ることができる。		
事業概要	災害時の救急医療に必要な医療器具等の整備事業に対して、吹田市医師会へ補助を行い、地域防災力の向上を図る。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
	■ 補助金・負担金	交付先①	一般社団法人吹田市医師会
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	604	604	602	602	602
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	806	795
総事業費(A+B)	1,421	1,394	1,408	1,408	1,397
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	1,421	1,394	1,408	1,408	1,397
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,421	1,394	1,408	1,408	1,397
財源計(C+D)	1,421	1,394	1,408	1,408	1,397

所属	危機管理室
事務事業番号	00016

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	救急医療器具等の整備に寄与する補助金の申請状況		目標値	1.00	1.00	1.00
			実績値	1.00	1.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	申請件数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,394.00	1,408.00	
			一般財源(千円)	1,394.00	1,408.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	災害時の救急医療を担う医院の増減	医院	目標値	360.00	360.00	360.00
			実績値	360.00	360.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	災害時に設置される医療救護所1か所あたり概ね60医院(6か所×60医院=360医院)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	3.87	3.91	
			一般財源(千円)	3.87	3.91	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	今後についても引き続き、市と医師会との連携で、応急医療体制の充実や訓練等の取組を進めていく必要がある。

事務事業分析シート

所属名	危機管理室	事業名	災害時救急医療器具等整備事業等補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	00016				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【ブルダウメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最善である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・成果指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や成果指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	84	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	危機管理室	事務事業番号	00016
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>災害時の救急医療に必要な器具等を、医師会により選定し、確保することにより、災害時の応急医療体制の整備に寄与している。持続可能性を考慮し、今後も効果的に事業実施をはかれるよう関係各部署との協議・研究を深める必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
17時03分55秒 作成

評価年度	平成29年度	所属	0001010000	危機管理室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00017	避難所等整備事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	01	安全なまちづくり							
細節	10	防災							
予算事業	10796	01	09	01	04	01	02	06	避難所等整備事業（災害対策費）
所属長	室長 真壁 賢治				担当者（内線） 村中 亮平（2135）				
根拠法令等	災害対策基本法、大阪府地域防災計画、吹田市地域防災計画								
事業開始年度	不明	直近の改正		なし					
改正内容	なし								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	一時避難地、広域避難地、避難所		
目標	避難所等の明確な明示の維持、避難所の整備		
結果	避難所等の明示を行うことで災害時に円滑な誘導を促し、避難生活が円滑に行えるようにする。		
事業概要	避難所看板等、表示施設の維持補修、避難所で使用する物品の整備		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	株式会社寺田美研
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		避難所看板の維持補修
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	641	271	1,094	1,183	2,227
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	806	795
総事業費(A+B)	1,458	1,061	1,900	1,989	3,022
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	1,458	1,061	1,900	1,989	3,022
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,458	1,061	1,900	1,989	3,022
財源計(C+D)	1,458	1,061	1,900	1,989	3,022

所属	危機管理室
事務事業番号	100017

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	避難地、避難所の看板や小中学校に配備しているLED照明の適切な維持管理	式	目標値	1.00	1.00	1.00
			実績値	1.00	1.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	点検や修理ができたか	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,061.00	1,989.00	
			一般財源(千円)	1,061.00	1,989.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	地震や風水害などに対する対策の満足度	点	目標値	60.00	60.00	60.00
			実績値	82.40	82.40	
			達成度(%)	137.30	137.30	
目標値の積算方法	吹田市市民意識調査報告書(平成26年度)市民の6割が満足していることを目標値に設定	単位当たりコスト	総事業費(千円)	12.88	24.14	
			一般財源(千円)	12.88	24.14	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	既に設置等している避難所看板や避難所に配備するLED照明などは、適切な表示等及び災害時に有効に活用できるよう管理しているほか、避難所における初動対応に必要な装備品等を順次配備している。 平成29年度は内閣府通知に基づいた多言語化や図記号表記、また夜間視認性が確保された標識に、市内全36小学校の避難所看板の修繕を行った。 今後、災害時に現在135か所指定する避難所を有効に機能させるためにも、避難所のトリアージや拠点とする避難所の強化等について他事業との連携も視野に検討していく必要がある。

事務事業分析シート

所属名	危機管理室	事業名	避難所等整備事業	事業区分	その他
事務事業番号	00017				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・成果指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や成果指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	危機管理室	事務事業番号	00017
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>避難所という有事施設の特性上、他事業との連携、事業改善といった効率性の評価がやや低いものの、全体として高い評価となっている。有事に備え、実効性の高いものとなるよう引き続き課題の洗い出しや精査が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

<p>日本工業規格(以下「JIS」という。)において、「災害種別避難誘導標識システム(JISZ9098)」が平成28年3月22日付で制定・改正され、公示された。これを受け、避難場所等の案内板等の整備及び更新を進める必要があった。平成29年度は市内全36小学校の避難所看板の修繕を行ったが、平成30年度は市内全18中学校、山手地区公民館の修繕を行う予定である。</p>

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月12日
18時46分21秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0001010000	危機管理室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00018	防災ハンドブックの作成・改訂事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	01	安全なまちづくり							
細節	10	防災							
予算事業	10797	01	09	01	04	01	02	07	防災ハンドブックの作成・改訂事業（災害対策費）
所属長	室長 真壁 賢治				担当者（内線）有吉 恭子（2134）				
根拠法令等	災害対策基本法、大阪府地域防災計画、吹田市地域防災計画								
事業開始年度	平成10年度	直近の改正	平成23年度						
改正内容	全面改訂し、全戸配布を実施								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	市内全世帯		
目標	災害に備えての準備と対処方法を家族や地域で話し合ってもらい防災意識の高揚を図る。		
結果	被害を最小限に抑える。		
事業概要	災害に備えての準備と対処方法を市民に知らせ、家族や地域で話し合ってもらうことにより、協力関係を築き被害を最小限に抑え、より多くの市民に実効性のあるものとするために、日本語だけでなく多言語、点字等で防災ハンドブックを作成・発行している。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	株式会社東京法規出版
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		防災ハンドブックの作成委託
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	3,786	3,785	4,196	4,196	26,217
人件費職員数(人)	0.20	0.10	0.20	0.10	0.40
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,634	790	1,611	806	3,178
総事業費(A+B)	5,420	4,575	5,807	5,002	29,395
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	5,420	4,575	5,807	5,002	29,395
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	5,420	4,575	5,807	5,002	29,395
財源計(C+D)	5,420	4,575	5,807	5,002	29,395

所属	危機管理室
事務事業番号	00018

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	防災ハンドブックを活用した防災講座を実施することで啓発に努めることができたか。	回	目標値	96.00	87.00	81.00
			実績値	82.00	70.00	
			達成度(%)	85.40	80.50	
目標値の積算方法	防災講座等の啓発回数(過去3年平均) 25年度109回、26年度106回、27年度74回、28年度82回	単位当たりコスト	総事業費(千円)	55.79	71.46	
			一般財源(千円)	55.79	71.46	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	防災ハンドブックを活用した防災講座を実施することで啓発に努めることができたか。	人	目標値	13,283.00	15,759.00	16,698.00
			実績値	15,386.00	19,913.00	
			達成度(%)	115.80	126.40	
目標値の積算方法	防災講座等啓発の参加人数(過去3年平均) 26年度17095人、27年度14797人、28年度15386人	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.30	0.25	
			一般財源(千円)	0.30	0.25	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	最新の内容に改訂できているか	式	目標値	1.00	1.00	1.00
			実績値	1.00	1.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	防災マップ等、必要な最新情報を更新できているか	単位当たりコスト	総事業費(千円)	4,575.00	5,002.00	
			一般財源(千円)	4,575.00	5,002.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>転入時全世帯配布と防災講座で内容周知を行う本事業は、減災対策や災害発生時の自主的な避難行動など災害時の対応策の周知に欠かせない事業である。</p> <p>外国人等、災害時要援護者への情報提供及び周知方法については、多様なアプローチが必要であり、防災ハンドブックは現在最も有効な手段である。</p> <p>また、平成30年度の全面改定時には、ハンドブック掲載内容についても、女性をはじめ多様な視点を取り入れるほか、近年の災害対応事例から時事に応じて見直しを行い、ハンドブックが全ての市民に防災・減災に必要な情報を届けるツールであり続けるよう工夫をしていく必要がある。</p>

事務事業分析シート

2018/6/12 10:57

所属名	危機管理室	事業名	防災ハンドブックの作成・改訂事業	事業区分	その他
事務事業番号	00018				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点	
(2) 有効性 (20点)	20	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点	
		①活動指標・成果指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や成果指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点	
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点	
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点	
(4) 公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点	
(5) 持続可能性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点	
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点	
(5) 持続可能性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点	
評価点合計 (100点満点)	92	③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点	
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	危機管理室	事務事業番号	00018
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成10年度に発行し、おおむね5.6年ごとに全戸配布しており、年間約80回を超える防災講座でも、減災対策や災害発生時の自主的な避難方法など災害時の対応策を周知するとともに、防災意識の向上を図っている。</p> <p>災害時に被害を最小限に抑え、日頃からの防災意識高揚のためにも、継続して取り組む必要があるが、女性や高齢者、障がい者などの災害時要支援者に対する吹田市のリスク及び防災体制等についての啓発には、現在のハンドブックでは不足する部分があり、改善の必要性から事業の効率性が前年度より下がっている。平成30年度の全面改訂時にはさらなる工夫が必要だと考える。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
17時04分38秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0001010000	危機管理室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01269	防災リーダー育成事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	01	安全なまちづくり							
細節	10	防災							
予算事業	11411	01	09	01	04	01	02	09	防災リーダー育成事業（災害対策費）
所属長	室長 真壁 賢治			担当者（内線）富岡 健一（2134）					
根拠法令等	災害対策基本法、大阪府地域防災計画、吹田市地域防災計画								
事業開始年度	平成24年度	直近の改正			なし				
改正内容	なし								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	地域防災の担い手となる市民		
目標	地域防災リーダーの育成		
結果	地域防災力の向上		
事業概要	地域防災力の向上を図るため、地域防災の担い手として地域防災リーダーを育成する。併せて、地域防災リーダーに対する継続的な講習を行う。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
		交付先①	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	50	50	50	113	50
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	806	795
総事業費(A+B)	867	840	856	919	845
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	867	840	856	919	845
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	867	840	856	919	845
財源計(C+D)	867	840	856	919	845

所属	危機管理室
事務事業番号	01269

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	リーダー育成講習の開催数	回	目標値	1.00	1.00	1.00
			実績値	1.00	1.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	リーダー育成講習の開催数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	840.00	919.00	
			一般財源(千円)	840.00	919.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	リーダー研修会(フォローアップ)の開催数	回	目標値	1.00	1.00	2.00
			実績値	1.00	1.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	リーダー研修会(フォローアップ)の開催数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	840.00	919.00	
			一般財源(千円)	840.00	919.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	市内在住者及び連合自治会単位での防災リーダー登録人数	人	目標値	170.00	204.00	229.00
			実績値	189.00	214.00	
			達成度(%)	111.20	104.90	
目標値の積算方法	①新規登録者数平均(3人/年) ②防災リーダー未登録連合自治会から各6人(6人×2連合自治体)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	4.44	4.29	
			一般財源(千円)	4.44	4.29	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	フォローアップ研修参加者数	人	目標値	30.00	30.00	30.00
			実績値	23.00	41.00	
			達成度(%)	76.70	136.70	
目標値の積算方法	参加者数の平均=30人	単位当たりコスト	総事業費(千円)	36.52	22.41	
			一般財源(千円)	36.52	22.41	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容	達成状況

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	平成24年度から開始した事業であり、現在214名の防災リーダーを育成しているが、今後、育成できていない地区を重点的に育成推進するとともに、防災リーダーに対してはフォローアップやレベルアップ研修を継続して行い、地域防災力向上に努める必要がある。

事務事業分析シート

所属名	危機管理室	事業名	防災リーダー育成事業	事業区分	その他
事務事業番号	01269				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	20	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組をしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	98	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		一 ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	危機管理室	事務事業番号	01269
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	コストを抑えつつ、リーダー育成の実績を積み上げており、全体として高い評価となっている。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月12日
18時47分05秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0001010000	危機管理室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01392	防災体制推進事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	01	安全なまちづくり							
細節	10	防災							
予算事業	11563	01	09	01	04	01	01	09	防災体制推進事業（災害対策費）
所属長	室長 真壁 賢治				担当者（内線）富岡 健一（2134）				
根拠法令等	災害対策基本法、吹田市地域防災計画、吹田市災害対策業務従事職員被服等貸与基準								
事業開始年度	平成24年度	直近の改正	平成28年度						
改正内容	吹田市地域防災計画								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	災害対応従事職員		
目標	災害対応業務の執行に必要な被服を配備し、職員の防災業務能率の向上		
結果	部長級職員及び新規緊急防災要員の被服を確保した。		
事業概要	地震発生時や発生頻度の高い風水害時に実際の現場作業に従事する避難誘導者等の要員や緊急防災要員等の装備を整え、いつ起こるか分らない災害に対し、即応できる装備の準備等を行う。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	409	202	1,460	1,237	5,606
人件費職員数(人)	0.20	0.10	0.20	0.10	0.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,634	790	1,611	806	1,589
総事業費(A+B)	2,043	992	3,071	2,043	7,195
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	2,043	992	3,071	2,043	7,195
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,043	992	3,071	2,043	7,195
財源計(C+D)	2,043	992	3,071	2,043	7,195

所属	危機管理室
事務事業番号	01392

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	被服の貸与であり、定量的な指標の算出が困難	式	目標値	1.00	1.00	1.00
			実績値	1.00	1.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	なし	単位当たりコスト	総事業費(千円)	992.00	2,043.00	
			一般財源(千円)	992.00	2,043.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	被服の貸与であり、定量的な指標の算出が困難	なし	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	なし	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	被服等の購入、管理の実施。	目標	新規緊急防災要員などに基準に基づく被服の配備
成果内容	毎年、吹田市災害対策業務従事職員被服等貸与基準に基づき被服等の配備を実施。	達成状況	新任部長級職員、緊急防災要員、避難者誘導等の要員に配備

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	市災害対策本部と地域災害対策本部を繋ぐ情報伝達の要となる緊急防災要員の活動効率の向上を図る目的として被服等を配備している。 また、大規模災害が発災した際には、全職員が災害対応にあたることから、防災業務の能率及び防災意識の向上を図るために防災服を配備するほか、継続した活動を行うため職員用食料の備蓄を行っていく必要がある。		

事務事業分析シート

所属名	危機管理室	事業名	防災体制推進事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01392				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。			
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点		
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。			
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点		
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。			
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。			
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点		
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。			
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点		
		②事業の目的と受益者が一致していますか。			
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。			
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。			
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点		
		①単位当たりコストは適正ですか。			
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。			
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点		
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。			
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。			
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。			
		内部管理	点		
		②サービスの水準は適正ですか。			
		内部管理	点		
		③適正な受益者負担を求めていますか。			
		内部管理	点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
		内部管理	点		
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。			
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点		
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。			
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	危機管理室	事務事業番号	01392
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>吹田市独自の取組である緊急防災要員など災害時の職員装備の充実を図っている。内部管理(職員対象)であるため公平性はゼロとなっているが、その他は全体として高評価となっている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月12日
18時48分08秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0001010000	危機管理室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01688	公共施設等防犯カメラ設置事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	01	安全なまちづくり							
細節	20	防犯							
予算事業	11702	01	02	01	26	01	02	01	公共施設等防犯カメラ設置事業（安心安全費）
所属長	室長 真壁賢治				担当者（内線） 芦田宏志（2145）				
根拠法令等	無線通信式防犯カメラの設置・管理及び運用に関する要領、無線通信式防犯カメラ運用管理に関する協定書								
事業開始年度	平成28年度	直近の改正	なし						
改正内容									
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市民		
目標	市全域に防犯カメラを設置するとともに内外に防犯広報することで、市域の防犯力の向上を図る。		
結果	市民が犯罪に巻き込まれることなく、安心安全のまちづくりの実現		
事業概要	<p>子どもや女性・高齢者が被害となる犯罪や声かけ事案等が身近なところで起こる中、安心できる防犯環境の整備が急務となっており、警察や地域の協力のもと、防犯環境の整備を進めていくため、公的責務として市全域に防犯カメラの設置を進める。</p> <p>(1) 期間：平成28年度から平成30年度までの3か年 (2) 台数：全36小学校区に15台ずつ防犯カメラを設置（合計540台） (3) 重点配置地区（江坂駅周辺、岸辺駅周辺、南吹田駅周辺）</p>		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	2,254	23	9,841	9,325	25,085
人件費職員数(人)	1.20	1.20	1.10	1.10	1.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	9,804	9,480	8,858	8,858	8,740
総事業費(A+B)	12,058	9,503	18,699	18,183	33,825
特定財源(C)	0	23	0	250	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	23	0	250	0
市負担(D)	12,058	9,480	18,699	17,933	33,825
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	12,058	9,480	18,699	17,933	33,825
財源計(C+D)	12,058	9,503	18,699	18,183	33,825

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	毎年度12小学校区に対する防犯カメラの設置台数	台	目標値	180.00	180.00	180.00
			実績値	180.00	180.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	1小学校区に15台を上限に設置 12小学校区×15台=180台	単位当たりコスト	総事業費(千円)	52.79	101.02	
			一般財源(千円)	52.67	99.63	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	重点配置地区に対する防犯カメラの設置台数	台	目標値	10.00	5.00	11.00
			実績値	6.00	5.00	
			達成度(%)	60.00	100.00	
目標値の積算方法	重点配置地区(駅周辺等) 江坂駅11台(平成28年度・29年度) 南吹田駅4台、岸辺駅7台(平成30年度)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,583.83	3,636.60	
			一般財源(千円)	1,580.00	3,586.60	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
(1) 治安がよいまちであると感じる市民の割合が70%以上 (2) 防犯対策に対する満足度60点以上	達成状況 42.8%(26年度吹田市市民意識調査) 54.7点(26年度吹田市市民意識調査)

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>犯罪認知件数の多い地域から平成28年度から平成30年度までに重点配置分も含め合計562台の防犯カメラの設置を進めているが、今後どのように市内外に防犯広報を行い、より一層防犯効果を高めていくかが今後の課題である。</p> <p>また、平成26年度・平成27年度と地域に対して補助を行い設置した防犯カメラや平成30年度に設置完了する562台の防犯カメラも含めてどのように整理していくか今後検討していく必要がある。</p>

事務事業分析シート

所属名	危機管理室	事業名	公共施設等防犯カメラ設置事業	事業区分	その他
事務事業番号	01688				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・成果指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や成果指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	危機管理室	事務事業番号	01688
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成28年度に引き続き平成29年度についても、防犯カメラの設置を行い、犯罪認知件数の減少など一定の効果があったと考える。</p> <p>また、平成29年度だけでも189件の警察からの防犯カメラ画像利用申請があり、捜査協力を行う中で、検挙につながった事例もある。</p> <p>今後、防犯カメラの設置台数が増えることでこういった捜査協力の機会が増えることで、検挙率が増え、少しでも犯罪抑止につながるものとする。</p> <p>なお、市の負担については増大するが、それに見合うだけの費用対効果はあり、犯罪抑止力の向上による安全面だけでなく、住民の安心感にも大きく寄与するものとする。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月16日
14時20分11秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0001010000	危機管理室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01689	安心安全ドライブレコーダー設置事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	01	安全なまちづくり							
細節	20	防犯							
予算事業	11705	01	02	01	26	01	02	02	安心安全ドライブレコーダー設置事業（安心安全費）
所属長	室長 真壁賢治			担当者（内線） 芦田宏志（2145）					
根拠法令等	なし								
事業開始年度	平成28年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	公用車		
目標	全公用車に防犯目的でドライブレコーダーを設置する。		
結果	見守りの目を増やすことで、市全域の防犯力の向上につなげ、安心安全のまちづくりを実現		
事業概要	<p>平成28年度から3か年で、市の保有する全公用車234台（特殊車両も含む）に動く防犯カメラとして、防犯目的でドライブレコーダーを設置し、見守りの目を増やす。</p> <p>（1）期間：平成28年度から平成30年度 （2）台数：平成28年度36台、平成29年度14台、平成30年度2台設置予定</p> <p>※設置対象外車両 既設の車両や各車両所管課において3年以内に車両更新があり、ドライブレコーダーの設置が見込まれる車両は除く。</p>		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容		
	交付先①		
	交付先②		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,346	1,283	802	424	56
人件費職員数(人)	0.20	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	1,634	790	806	783	795
総事業費(A+B)	2,980	2,073	1,608	1,207	851
特定財源(C)	0	1,283	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	1,283	0	0	0
市負担(D)	2,980	790	1,608	1,207	851
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,980	790	1,608	1,207	851
財源計(C+D)	2,980	2,073	1,608	1,207	851

所属	危機管理室
事務事業番号	01689

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	公用車への防犯目的でのドライブレコーダー設置台数	台	目標値	36.00	14.00	2.00
			実績値	36.00	14.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	公用車のうち今後3年の間にドライブレコーダーの設置予定のない車両を3か年に分けて設置	単位当たりコスト	総事業費(千円)	57.58	86.21	
			一般財源(千円)	21.94	86.21	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	既設を含め公用車への防犯目的でのドライブレコーダーの設置台数	台	目標値	234.00	232.00	232.00
			実績値	161.00	183.00	
			達成度(%)	68.80	78.90	
目標値の積算方法	公用車すべてに防犯目的のドライブレコーダーを設置	単位当たりコスト	総事業費(千円)	12.88	6.60	
			一般財源(千円)	4.91	6.60	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	全公用車への防犯目的でのドライブレコーダーの設置割合	台	目標値	52.99	87.17	100.00
			実績値	68.80	78.80	
			達成度(%)	129.80	90.40	
目標値の積算方法	年次計画値(平成30年度100%を目指す)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	30.13	15.32	
			一般財源(千円)	11.48	15.32	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容	(1) 治安がよいまちであると感じる市民の割合が70%以上 (2) 防犯対策に対する満足度60点以上
	達成状況 42.8% (26年度吹田市市民意識調査) 54.7点 (26年度吹田市市民意識調査)

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	見守りの目拡大事業として、平成30年度も引き続き公用車への設置を進める。事業としては、公用車の設置が30年度で完了することから、平成30年度をもって事業を廃止する予定である。 。今後は、行政だけでなく、出来るだけ多くの市民や事業者にもドライブレコーダーの有効性を理解いただき、見守り活動に協力してもらえるよう周知活動に力を入れていく必要がある。

事務事業分析シート

所属名	危機管理室	事業名	安心安全ドライブレコーダー設置事業	事業区分	その他
事務事業番号	01689				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・成果指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や成果指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。			
b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。			
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	危機管理室	事務事業番号	01689
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成28年度から設置事業を行っているが、当初計画よりも早く全公用車への設置が進んだ。事業としては、平成30年度に全公用車の設置が完了する見込みである。したがって、本事業は一定役割を終えることになるが、今後はより多くの市民や事業者にドライブレコーダーの有用性を理解いただき、見守り活動に協力いただけるよう事業展開していく必要があると考える。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月12日
18時50分32秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0001010000	危機管理室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01690	安心安全ドライブレコーダー普及促進事業			
章	06	安全で魅力的なまちづくり			
節	01	安全なまちづくり			
細節	20	防犯			
予算事業	11875	01	02	01 26 01 02 03	安心安全ドライブレコーダー普及促進事業（安心安全費）
所属長	室長 真壁賢治		担当者（内線）		芦田宏志（2145）
根拠法令等	安心安全ドライブレコーダー設置補助金交付要綱、安心安全ドライブレコーダー設置補助金交付要領				
事業開始年度	平成29年度	直近の改正	なし		
改正内容					
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 ● その他		
対象	市内事業者が所有する車両		
目標	商用車に新たにドライブレコーダーを設置し、見守りの目を拡充		
結果	見守りの目を増やすことで、市全域の防犯力の向上につなげ、安心安全のまちづくりを実現		
事業概要	平成29年度からの新規事業として、事業者が所有する車両に新たにドライブレコーダーを設置する場合、設置費用の1/2（上限1万円）を補助することで、見守りの目を増やし、市全域の防犯力の向上を目指し実施する。 申請期間：平成29年8月1日～平成30年2月28日まで 補助台数：200台 また、既にドライブレコーダーを設置している車両の所有者に対しても見守り協力車両ステッカーを交付し、見守りの目を増やす。		
実施方法	■ 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
	■ 補助金・負担金	交付先①	市内事業者
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	0	2,535	1,494	305
人件費職員数(人)	0.00	0.00	0.30	0.30	0.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	0	0	2,416	2,416	1,589
総事業費(A+B)	0	0	4,951	3,910	1,894
特定財源(C)	0	0	1	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	0	0
市負担(D)	0	0	4,950	3,910	1,894
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	4,950	3,910	1,894
財源計(C+D)	0	0	4,951	3,910	1,894

所属	危機管理室
事務事業番号	01690

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	市内事業者への補助台数	台	目標値	0.00	200.00	30.00
			実績値	0.00	140.00	
			達成度(%)	0.00	70.00	
目標値の積算方法	補助金を交付した台数(当初目標数)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	27.93	
			一般財源(千円)	0.00	27.93	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	見守り協力車両台数 (補助金交付した事業者を含む)	枚	目標値	0.00	1,200.00	1,200.00
			実績値	0.00	390.00	
			達成度(%)	0.00	32.50	
目標値の積算方法	ステッカー交付枚数(当初目標)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	10.03	
			一般財源(千円)	0.00	10.03	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容	(1) 治安がよいまちであると感じる市民の割合が70%以上 (2) 防犯対策に対する満足度60点以上	達成状況	42.8%(26年度吹田市市民意識調査) 54.7点(26年度吹田市市民意識調査)

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	見守りの目拡大事業として、平成30年度も引き続き実施する。 今後の課題としては、既にドライブレコーダーを設置している事業者や市民に対して、見守り活動に賛同し、協力いただけるよう事業広報に力を入れていく必要がある。		

事務事業分析シート

所属名	危機管理室	事業名	安心安全ドライブレコーダー普及促進事業	事業区分	その他
事務事業番号	061690				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

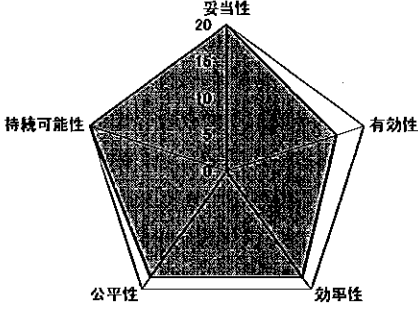
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
		①活動指標・成果指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や成果指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	92	③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	危機管理室	事務事業番号	061690
-----	-------	--------	--------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成29年度にドライブレコーダーの映像の有効性が実証されるような事案があったことから、ドライブレコーダーの需要が増え、事業者だけでなく市民の関心も高くなった。今後についてもその傾向は続くか考えるが、今後の課題については、既設の事業者や市民への見守り活動への協力で事業展開していく必要があると考える。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月16日
14時17分27秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0001010000	危機管理室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01813	防災用備蓄倉庫整備事業		
章	06	安全で魅力的なまちづくり		
節	01	安全なまちづくり		
細節	10	防災		
予算事業				
所属長	真壁 賢治	担当者（内線）	飛嶋 隆太（2146）	
根拠法令等	災害対策基本法、大阪府地域防災計画、吹田市地域防災計画			
事業開始年度	平成29年度	直近の改正	平成28年	
改正内容	港湾、漁港管理者による災害時における放置車両の移動等の権限付与			
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市民、企業、行政		
目標	吹田市備蓄計画に基づき、市内6ブロックに防災倉庫を整備する。		
結果	市内6ブロックに防災倉庫を整備する。		
事業概要	南海トラフ巨大地震や上町断層帯地震等の対策、東日本大震災、熊本地震等の過去の災害から得られた課題教訓を踏まえ策定した「吹田市備蓄計画」に基づき、「防災用備蓄倉庫」を整備・運用し、市の備蓄体制の強化を図る。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	企業組合一級建築士事務所ひと・まち設計
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	実施設計
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	0	0	0	11,555
人件費職員数(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50
人件費単価	0	0	0	0	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	0	0	0	0	11,555
特定財源(C)	0	0	0	0	1,041
国	0	0	0	0	1,041
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	0	0	0	0	10,514
地方債	0	0	0	0	7,800
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	2,714
財源計(C+D)	0	0	0	0	11,555

所属	危機管理室
事務事業番号	01813

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	備蓄倉庫の整備数	箇所	目標値	0.00	1.00	2.00
			実績値	0.00	1.00	
			達成度(%)	0.00	100.00	
目標値の積算方法	年間の整備した倉庫の数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	市内6地域に各1か所整備する	地域	目標値	0.00	6.00	5.00
			実績値	0.00	1.00	
			達成度(%)	0.00	16.70	
目標値の積算方法	6地域の内整備した地域数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	吹田市備蓄計画に基づき、各地域に防災備蓄倉庫を整備する必要がある。 市内6地域のうち、平成29年度時点で1地域が整備済、2地域が整備中となっている。 今後、未整備地域への倉庫整備について、速やかに取り組んでいく。

事務事業分析シート

2018/6/129:52

所属名	危機管理室	事業名	防災用備蓄倉庫整備事業	事業区分	その他
事務事業番号	01813				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	危機管理室	事務事業番号	01813
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

緊急物資が避難所生活者等に迅速かつ的確に配布する多くのマンパワーを要するため、受援計画や各種マニュアルの作成と併せて市民、企業への自主的な備蓄の啓発総合的に進めている。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>有事の際に必ず必要となる施設であり、全体として高い評価であるが、迅速なサービス提供や事業効率化の向上など効率性の項目の評価がやや下がっている。来る災害に備えて市内全域での整備が急務である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に係る特記事項)

大阪府と府下市町村で構成する大阪府域救援物資対策協議会で検討、策定した「大規模災害時における救援物資に関する今後の備蓄方針について」を踏まえ、府市連携して備蓄拠点を整備している。